

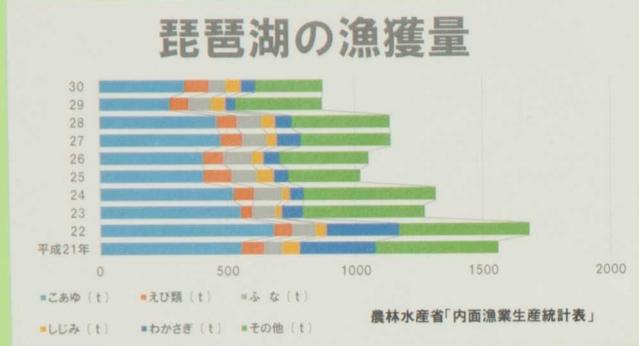
外来魚が襲ってきた

琵琶湖の魚のピンチ！

調べた理由

私は日頃ニュースを見ていて「環境問題」という言葉を耳にします。人・動物・自然など様々なものに影響を及ぼしています。では、私たちの身近な琵琶湖はどのような変化がおこっているでしょうか？私は、疑問に思い調べてみようと思いました。

3年2組16番 松吉美奈帆



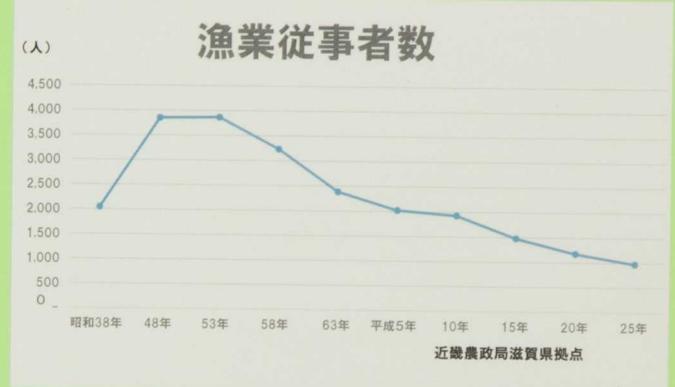
漁獲量が急激に減少している！

漁獲量の一番多い平成22年に比べて平成30年では約2分の一の漁獲量になっている。特にワカサギの変化が激しい。

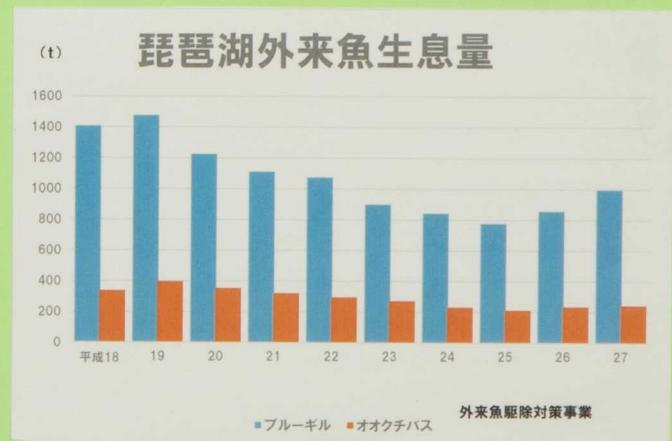
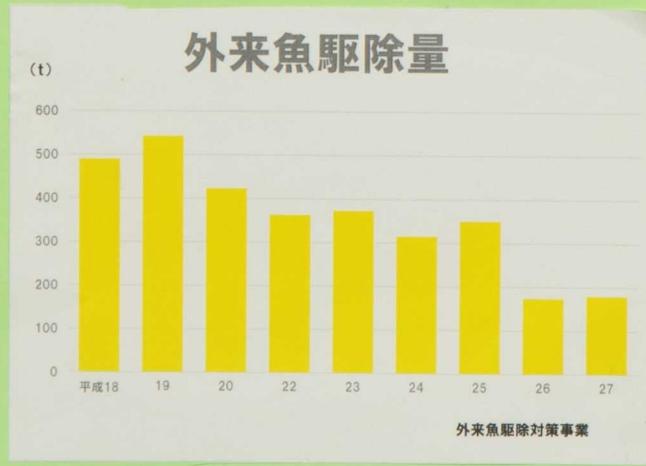
その原因は…



※CODとは…有機物による汚濁

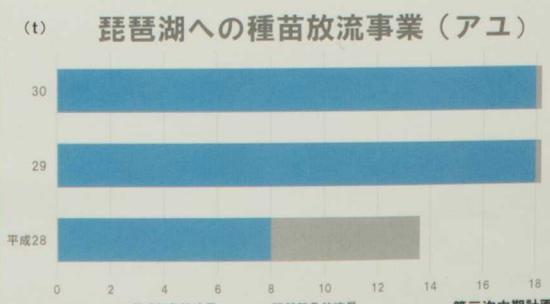


環境の変化も挙げられるが、昭和48年からずっと漁業につく人が減少している。



駆除数が少なくなった平成26,27年に外来魚の生息数が増加してしまっている。

改善にむけて…



漁獲量と見てもあまり効果がまだ出でていない。

まとめ

琵琶湖では漁獲量が低下していた。水質の低下や、外来魚などの影響があった。外来魚の駆除、栽培漁業、改善に向けての取り組みも行われているが安定した結果が得られていない。継続して取り組むことが重要だと思った。環境問題は世界を取り巻く問題。世界中の人々が取り組まなければ解決できないだろう。まずは身近なことから変えていく必要がある。意識して些細なことから始めていきたい。